

## 令和7年度 萩市自立支援協議会 活動総括

令和7年度は、「こども支援部会」「就労支援部会」そして新設された「リーダー会議」を中心に、障がいのある方々が萩市で安心して自分らしく暮らせる体制づくりに邁進してまいりました。

～「つなぐ」ことで、地域の力を最大化する～

私たちは、新しい福祉資源の創出や人材確保という大きな目標に挑み続けると同時に、今年度はもう一つの重要な視点を再確認しました。

それは、「今ある地域資源をどう活かし、人とネットワークをどうつないでいくか」という視点です。

### 【情報の共有】

・縦割りになりがちな各機関が情報を分かち合い、一人の利用者を「面」で支える体制。

### 【知恵の共有】

・ベテランから若手へ、あるいは事業所間で支援技術やノウハウを惜しみなく共有する文化。

### 【課題の共有】

・現場の困りごとをリーダー会議が集約し、具体的な解決策(研修やコアチーム編成)へとつなげる仕組み。

・限られた資源の中でも、それらを「つなぐ」ことで、萩市の障がい福祉はより豊かで力強いものになると確信しています。

### 【今後に向けて】

・事務局(萩市福祉支援課)として、現場の声に真摯に耳を傾け、地域のネットワークをさらに強固なものにしていけるよう尽力してまいります。

・委員の皆様、事業者の皆様、そして市民の皆様には、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。